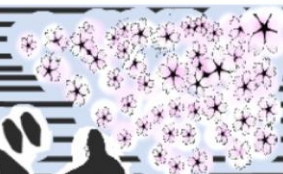


広報

やなせがわ



第42号 発行
2015年12月10日
柳瀬川町内会
広報部

『新古今和歌集』の嘆きの歌

柳瀬川町内会長 竹前栄二

世の中の

なりはつるこそ

かなしけれ

ひとのするには

わがするぞかし

訳せば、世の中がこんなになつてしまったのは悲しい。

だが、人のする事は即ち自分ができることなのだ。

つまり、他人が世の中を悪くしたのではなく、自分にも責任があるとの意味である。

今から、八百年程前の歌である。

中世の時代においても、現代においても、世の中に対しての嘆きは変わらない。しかし、この歌では自分にも責任があると反省している。現代においても小は「家庭」から「地域」「会社」大きくは「政治」が悪いから自分の何々が、何時までも良くなならないと「愚痴」をこぼすが、そういう人に限って自ら動かさず文句を言う。

地域においても自ら汗を流して動くときに地域も楽しく住みやすくなるのではないか。

歌にあるように「自分にも責任がある」と自覚して動くことで地域の活性化がある。年々、町内会加入率が下がっているとの事だが、低い町内会は治安、ゴミ出しマナー、近隣とのトラブルが増

えているとの事である。

NHKの「クローズアップ現代」で町内会の問題について特集があった中で地震など天災に遭遇した時は町内会が必要と考えているが、普段は行政が色々の問題は片づけてくれるし、町内活動は面倒なので加入しないとの事。

自分勝手な考え方の人が多くなって八百年前より悪くなっている。

災難に対して皆が思っていることは、人は皆「自分だけは死なない」と思っているそうだが専門家は「自分は大丈夫と思っている人が一番危ない、遭わない為には隣近所と協力的体制づくり地域の防災力を高めるために自らも行事に参加していくこと」が大事な事。日頃から声を掛け合う中に心が通い合い防犯、防災力向上に繋がっていくのではないか。

歌のように各自が責任を持つことが大事ではないだろうか。

文覚の歌

藤原定家の建久九年（一一九八年）二月二十五日の一日の行動が「明月記」を基に書かれている。そこに出てくる文覚坊の歌。

柳瀬川町内会とレスト・ヴィラとの 合同防災訓練



～ その目的と意義を考えてみる ～

10月17日に柳瀬川町内会とレスト・ヴィラとの合同防災訓練が行われました。

訓練の内容は昨年とほぼ同じでしたが参加者は尚一層の体験を深めるため応急手当や避難、消火器訓練など一生懸命訓練に励んでいました。

今回の訓練項目

1. 応急手当訓練。(消防署員指導)
2. AEDの操作訓練。(消防署員指導)
3. 「煙体験ハウス」による避難体験訓練。(消防署員指導)
4. 水消火器による消火訓練。(消防署員指導)
5. 炊き出し訓練。(アルファ一米)
6. 簡易トイレの設置訓練。
トイレ用、更衣用の簡易テント設置訓練

訓練は午前中に全てが終わり、炊き出し訓練でできたアルファ一米弁当を参加者に配付



“炊き出しセット”は、この箱1つにお湯を7リットル入れて50人分の炊き込みご飯を作ることができます。

し解散しました。

尚、今後はこのような機会には一人でも多くの方、特に過去に参加したことが無い方は自分のため他人のために積極的に参加することが必要です。

・防災訓練目的と意義

防災訓練における目的は、その地域の事、どんな方が居るのかを知る事でもあり様々なこ

とを知る事が出来る一歩に繋がります。

中には訓練を通して少しでも興味を持つ人や、きっかけをつかむ人もいると思いますが、ただ訓練を年中行事として形式的に行うか、主体性を持って実行するかでのおのずと結果は違ってきます。訓練は、やらされているといふ気持ちがある限り意義も効果もありません。実際に災害が発生したら誰



かにやってももらうだけでなく、自分で考え行動する必要があるばかりでなく、その時、何が必要でどう機器を使うか、日頃から色々な訓練をした結果が役立つので、その時のために訓練をする必要があります。

また団体行動を取るにあたっては地域住民とで協力し、自分のすべきことが理解出来る

ほか災害時に使用する資機材を正しく安全に取り扱う方法が学べたり、避難場所や避難経路の確認などを把握することにも繋がります。

訓練は回数を重ねることによって応急対応が身に付き非常時には訓練効果が発揮できるのが防災訓練の目的と意義です。

消防署員による応急手当の説明をうけて、訓練を行いました。



煙体験ハウス



防災トイレ



応急手当（心臓マッサージ）の訓練のあとはAEDの模擬機を使っての操作体験の様子。

民謡流し



志木市のお祭りのイベント「民謡流し」に柳瀬川町内会として参加するようになって、6年になります。

発足当時はここまで続けられるとは、考えていませんでしたが・・・。

民謡流しは、地域の各団体が、志木の民謡を繰り返し踊りながらメイン通りを流していくのですが、夏の夕暮れ、総勢500人にもものぼる踊りはまさに圧巻です。

団体は、町内会、婦人会、舞踊の団体、介護施設の職員のグループ・・・と、さまざまで、ここ3年くらい前から、学童保育クラブの参入により、若い人や子どもたちの参加がいきよに増えた気が



がします。

一方で高齢化も進み、柳瀬川町内会でも毎回踊り手を集めるのに頭を悩ませています。

今年は踊りのベテランである他町内の方も加わり、20人弱といったところ。

おとなは60代、70代、80代。子どもは幼稚園児と小学生。さながらおばあちゃんと孫と

いった構成です。

プラカードは若い湯本ママさんに持っていたことができました。

突然の雷雨で中止になってしまった昨年の分も思い切り踊り、快い疲労感と、大きな達成感を感じることができました。

民謡流しは踊る人だけでなく、近くまで車で送ってくれる人、警備の人、打ち上げの準備をしてくれる人と、たくさんの方の協力があっけはじめてなりたっています。本当に感謝です。

これから何年続けられるか判りませんが、より多くの人が「民謡流し」に参加し、楽しいひと時を共有できたらと思っています。



副会長 伊藤 ふじ子

今年で3回目のバーベキュー大会が先日行われました。

3年前から市民体育祭参加がむずかしくなったからです。

30年余り体育祭は地域交流の場であり年間行事として楽しみにしていたものでした。

当時子供リレーはいつも一等賞、ポール引きも一等賞、10メートル走も走ったものでした。

まだまだやれる気分充分ポール引きも一位間違いない(?)ではあります。あれから30年、いつの間にか子供の数も減り残念な年ら参加が無理となったのです。

でもここ数年で若い方達の転入もあり子供も増えて3年後の

小学校入学児童は10名になりました。

また、赤ちゃんの泣き声も聞かれ思わず笑みがこぼれます。

体育祭に代わる世代交流の場は何か・・・と考えた結果、誰もが気軽に参加できるバーベキューを思いつきました。

車イスで参加する方も居ればベビーバギーでパパもママも参加。土手の近くの空き地で皆さんが集まります。

多い時には70名もの参加がありました。

子供たちはおじいちゃん、おばあちゃん、膝にさりげなく座りある子供はビールを注いで回ります。大人達は普段会えない孫の味を楽しんでいます。

なんとほほ笑ましい姿でしょう。今年はポップコーンと綿菓子もあり熱々の芋煮を食べお喋りし、交流を深め地域の発展に繋がっていきばすばらしい事ではないでしょうか。



こどもかい

通信

柳瀬川子供会には有望な子供達が沢山います。

2年生の黒澤琴菜ちゃんはいろはこども文化賞「写真の部」で最優秀賞を受賞。

また、4年生の湯本凜音ちゃんはバトミントンで関東大会に出場です。

将来が楽しみです。



今月の『広報しき』に平成27年度、いろはこども文化賞の琴菜ちゃんの作品とコメントが掲載されています。

『暑いね カツパさん』

志木第三小学校 2年

黒澤 琴菜

図書館に行ったとき、入り口にカツパさんがいて、とてもあつそうだったんで、わたしのむぎわらばしをかぶせてあげました。

いもうとが「あついねカツパさん」とおしゃべりしているよな、かわいいしやしんをとることができました。



『バトミントンクラブ』

湯本 凜音



私は、バトミントンを小学2年生からやっています。

始めたばかりのころは「はたうち」といって、大人に旗をもってもらい、その旗をラケットで打つ練習をしていました。

最初のころは旗打ちで大きな音は出なかったけれど、毎日やっているに響く音がでるようになり、羽根もよく飛ぶようになりました。

それからは、ゲーム練習も頑張って今年の夏は具体会で3位になり関東大会に出ました。

2試合目で優勝した子と対戦し、負けてしまいました。が、いい試合が出来たと思います。

来年は全国大会を目指します。



※今大会の会場・彩の国くまがやドーム

欧州うた日記

レスト・ヴィラ志木柳瀬川

坂井 房子

(序)

外国に

おきざりにされし夢にゐて

呆然と見るドナウの流れ

(オランダ)

海よりも

低き地なりし国にして

八十八本の運河めぐらす

税金は

五十パーセントのオランダの

老夫婦ホームのベンチに座る

我の出す

ギルダ不足を目をふさぐ

仕種しまけたり木靴職人

懺悔を受くる

神父の胸よりあふれしは

尖塔の先を天へ翔つ



(ドイツ)

ワグナーを

愛した王の建てし城

白鳥のランプ白鳥の蛇口

トランクに

手古摺り降りしを軽々と

持ち上げくれしドイツの青年

兵役に

つきてドイツの若者は

ボランティアの心

育てるといふ

六十の

美術館四十のオペラ座を

もつとききたり

ミュンヘンの町



ここよりは

ロマンチック街道と矢印が

たてられ世界に

あふれるる日本

玉葱形を

塔の上ののせ

道祖神のやうな教会の建つ



バスの前を

牛乳缶の絵をかいた

牛乳車がゆく

バイエルン地方

広告を

画きし塔の立ちてゐる

シュタインバーデン

農村風景

学生の

宮殿といふエリートを

国費で育てる

ドイツの興隆

騎馬試合を

人形の演ずる仕掛け時計

マリエン場に

人のあふるる

(オーストリア)

白鳥が

我に寄りきてヨーデルの

音色きこゆるような

トラウン湖





教会の

ミサに会いに来信仰を

日常とする

欧州とおもふ

クリームは

二十シリング青きドナウ

ハミングして食む

ドナウ河岸

城塞の

点てんと見えみどり濃き

ドナウ河ぞいの

ロマン街道

いち面の

ブドウ畑よドナウ河

はさみてワインの

村のつづきぬ

古伊万里の

壺にあひたりはろぼると

シエーンブルンの

宮殿にきて

青きドナウの

曲流しつづ走るバス

若き音楽家の

夢見えてくる

地底湖と

いふ不気味なる牢屋にて

がんくつ王を

みるおもひする

高速の

道路につづくブドウ畑

ウィーンの森の

中を走りぬ

(イタリア)

天よりの

光とどきぬドウオモの

教会の床の我の星座に

ダビンチの

絵の修復をなしてゐる

それも絵と見る最後の晚餐



(終章)

いずこにも

我らの国のガイドゐて

異国のことごと

明るく語る

川柳



7班 奥村エイ子

生きている

よいこらしょうを

杖にして

来し方を

黙す地蔵に

伝えたし

別枠で

見たた老化に

同化した

母のせて

さくらさくらの

車椅子

イカ噛んだ

つもりがイカに

喰いつかれ



山茶花

(サザンカ)



山茶花は、日本原産の耐寒性常緑小高木で、花の無い時期に咲く貴重なツバキ科ツバキ属で山茶花全般の花言葉は「困難に打ち克つひたむきさ」です。

花言葉の由来は寒さが強まる過酷な季節にも負けずに花を咲かせる姿から来ています。

色別の花言葉としては

赤…謙讓／あなたがもつとも美しい
白…愛嬌／あなたは私の愛を退ける
ピンク…永遠の愛
があります。

中国でツバキ科の植物を指す「山茶(さんさ)」が名前の語源で、この漢字の読み方が「サンサカ」と訛って、次第にサザンカという読み方が定着していったとされています。



花の名前	山茶花	椿
開花時期	10～2月 (晩秋～冬)	12～4月 (冬～早春)
花の散り方	花びらが散る	花が丸ごと落ちる
花の開き方	大きく完全に開く	カップ状で開ききらない
葉	縁にギザギザ有り 毛が有り	縁にギザギザ無し 毛が無い

山茶花と椿の違い

花色には桃色、赤、白等がありますが同属同科のツバキ(椿)と似ており花だけでは見分け方が難しいので簡単な見分け方を表にまとめました。

これからは「山茶花」か「椿」か分らない時には左記の違いを参考に葉の形状や毛の有無で両者の判断をすることも楽しいかもしれませんね。

編集 後記



カレンダーも最後の一枚となり仕事に家事に師も走るという忙しい12月ですが巷ではイルミネーションやポインセチアの赤い花とクリスマスソングが流れ忙しさに拍車がかかってきます。

広報部では12月配布に向けて11月に入るとすぐ発行の準備に入りました。

記事内容には不足もあるかと思いますが計画から配布に至るまで1か月半ほど掛かりました。

広報部員は素人集団であり完成に向かって心も焦り走り回るさまは11月とはいえ師走の状態でした。

皆さんも気ぜわしい毎日と思いますが体調をくずされませんようお祈り申し上げます。

K

立ちあおい、彼岸花、コスモス、そして菊、朝夕散歩のたびに植えてくれた人に感謝しながら花を楽しんでいます。毎日の気温差の激しい季節、くれぐれも体調管理をおこたりになく。

T

忙しくなく走り回る年末がやってきます。

明るく楽しい毎日を送れるように、来年も「毎日の小さな幸せ」を探そうと思います。

S

先日、39度前後の熱が続き、久々に『身体が言うこときかない』状態、小さな変化を気にしなかったせいですね。編集作業にも影響してしまい、まったくもって反省頻りです。

M

広報やなせがわ 第四二号

編集 柳瀬川町内会 広報部

部長 川口 勲

委員 竹前恵美子

委員 宮川 憲一

委員 澁谷 和代